

公立学校情報機器整備事業に係る各種計画

令和7年3月

利尻富士町

公立学校情報機器整備事業に係る各種計画 目次

- ・ 利尻富士町 端末整備・更新計画（P 1）
- ・ 利尻富士町 ネットワーク整備計画（P 2）
- ・ 利尻富士町 校務DX計画（P 3）
- ・ 利尻富士町 1人1台端末の利活用に係る計画（P 4）

利尻富士町 端末整備・更新計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 児童生徒数	136	129	120	111	111
② 予備機を含む 整備上限台数	157	-7	-9	-9	0
③ 整備台数 (予備機除く)	136	0	0	0	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	136	0	0	0	0
⑤ 累計更新率 (%)	100.0	105.4	113.3	122.5	122.5
⑥ 予備機整備台数	21	0	0	0	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	21	0	0	0	0
⑧ 予備機整備率 (%)	100.0%	0	0	0	0

*①～⑧は未到達年度等にあつては推定値

*⑤累計更新率については、【令和7年度整備台数（予備機除く）/各年度の児童生徒数】で算出。

<端末の整備・更新計画の考え方>

令和2年度に整備した230台（児童生徒用174台・教員用56台）の端末について、恒常的な容量不足やバッテリーの劣化に起因する諸問題が生じており、日常的な授業等の利活用に支障が出かねない状況であることから、令和7年度に更新を行う。（児童生徒用157台（予備機21台含む）、教員用70台の計227台）

<更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について>

○対象台数：230台

○処分方法

- ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用：0台
- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託：0台
- ・資源有効利用促進法の製造事業者にて再使用・再資源化を委託：0台
- ・その他（端末保守委託業者に委託）：230台

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

・自治体の職員が行う

処分事業者へ委託する

○スケジュール（予定）

- ・令和7年11月 新規購入端末の使用開始
- ・令和8年1月 使用済端末のデータの削除
- ・令和8年3月 使用済端末の事業者への引き渡し

利尻富士町 ネットワーク整備計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
② アセスメントの実施有無	有	有	有	有	有
<p><ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、ネットワークの使用に際し、インターネット速度に関しては十分な速度が出ている状況ではあるが、随時教職員に対しヒアリング等を行ないながら、ネットワーク環境の使用状況を把握する。 <p><ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記により、速度不足を確認できた際には、機器の更新や回線契約の変更など計画的なインフラ整備を行ない、該当校のネットワーク速度の安定化を図っていく。 					

利尻富士町 校務DX計画

利尻富士町では、学校においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するために、デジタルツールを導入するだけでなく、教育の質や学びのあり方を変革するための環境づくりや意識改革が必要と考えている。目指す教育目標を明確にし、具体的な導入目標を設定するとともにインフラの整備やセキュリティ対策、保護者や地域との連携を強化し、個人情報の保護やトラブルに備える体制も必要となる。また、教職員の業務効率のためのデジタル活用や既存システムを見直すとともに、組織的な取組みで持続可能な運用体制の構築に努めていく。

<具体的な取組>

- 次期GIGAスクールを見据えた計画的なインフラ整備等の推進
 - ・安定した校内ネットワーク環境の整備
 - ・デジタル教材やアプリの導入
- 既存システムの見直しによる教員業務の効率化支援
 - ・校務支援システムのクラウド化
 - ・教育委員会や外部ネットワークの統合
- セキュリティ対策と個人情報の保護体制の確立
 - ・セキュリティポリシーの策定
 - ・校内における個人情報保護研修の開催
- 教職員のICTリテラシー向上支援
 - ・学習の進捗や成績などデータの活用方法の研修の開催
 - ・デジタル化推進協議会を通じたICTワークショップやサポート体制の整備

利尻富士町 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

あらゆる情報の活用能力と探求的な学びで 未来を生き抜く力を育む 「確かな学び」(小中一貫)の創造を基本理念に、来る「NEXT GIGA」の準備を「利尻富士町学校教育情報化推進計画」の策定とともに変化の激しい社会に的確に対応し、学びのトランスフォーメーションとして令和5年度に導入した小中一貫教育とともにデジタル化を切り口に「学校DX」を目指していく。

<具体的な取り組み>

情報活用能力の育成

- 興味・関心や能力・特性等に応じた学習意欲への環境整備
- 情報モラルやセキュリティ指導の取り組み
- インターネット上のデータ活用など多様なリソースや生成AIを活用できる能力の育成

探求的な学びの充実

- 子ども達が自らの問い、答えを求め、学びの質を高める授業づくり
- 地域でのフィールドワークを通じた実践的な取り組み
- 主体的な学びの中で自ら学習を調整できる能力の育成

2. GIGA第1期の総括

利尻富士町では、令和2年度から3年度にかけて、すべての学校と児童生徒に通信ネットワークとタブレット端末、AI学習アプリや校務支援システムなどクラウド環境を含めた離島ICTをいち早く整えた。GIGAスクール構想で整備した本町のICT環境には、教員の90%が満足しており、学びの本質としてのICTの必要性については、ほとんどの教員が必要であるという認識であるとともにICTの活用による学びの変化は大きく変化していると実感している。

一方で、教員間のICTスキルやリテラシーには差があることもそれぞれが認識しており、各校ICT担当教員等で構成された学校デジタル化推進協議会を通じて、ICT活用の在り方について個々のスキルアップやレベルに応じた研修を行ってきた。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和2年度に整備した1人1台端末は、導入から5年が経過し、恒常的な容量不足やバッテリーの劣化等に起因した諸問題が生じており、日常的な授業等の利活用に支障が出かねない状況であることから、より高度なICT環境下での教育を推進し、1人1台端末環境を引き続き維持するため、令和7年度に全児童生徒分に予備機、教員分を合わせた227台の端末更新を行う。

端末更新とともに学校デジタル環境の整備、周辺機器の更新や継続的なネットワークアセスメントを行なうことにより、児童生徒にとってさらに充実した1人1台端末環境を維持していくことを目指す。